

## R5 邑知小学校学校研究概要

### I 研究の概要

#### (1) 研究主題

教科の見方・考え方を働かせて自分の考えを表現する児童の育成  
～対話と ICT 活用を通して記述力向上のための単元デザインを目指す～

**記述力**:教科の見方・考え方を働かせて自分の考えを表現する力      **資質・能力**:言語能力

#### (2) 研究仮説

教師が、教科の見方・考え方を働かせるために、視点を明確にした対話と、ICT の効果的な活用をし、授業改善を行うことで、教科の見方・考え方を働かせて自分の考えを表現できる児童を育成することができるであろう。

#### (3) めざす児童の姿

- ① 考えの見通しをもち、互いの考えを伝えたり、引き出したりする児童
- ② 自分の考えを対話や ICT 活用を通して明確にする児童
- ③ 教科の見方・考え方を働かせ、考えを表現する児童

### 2. 研究の重点と実践

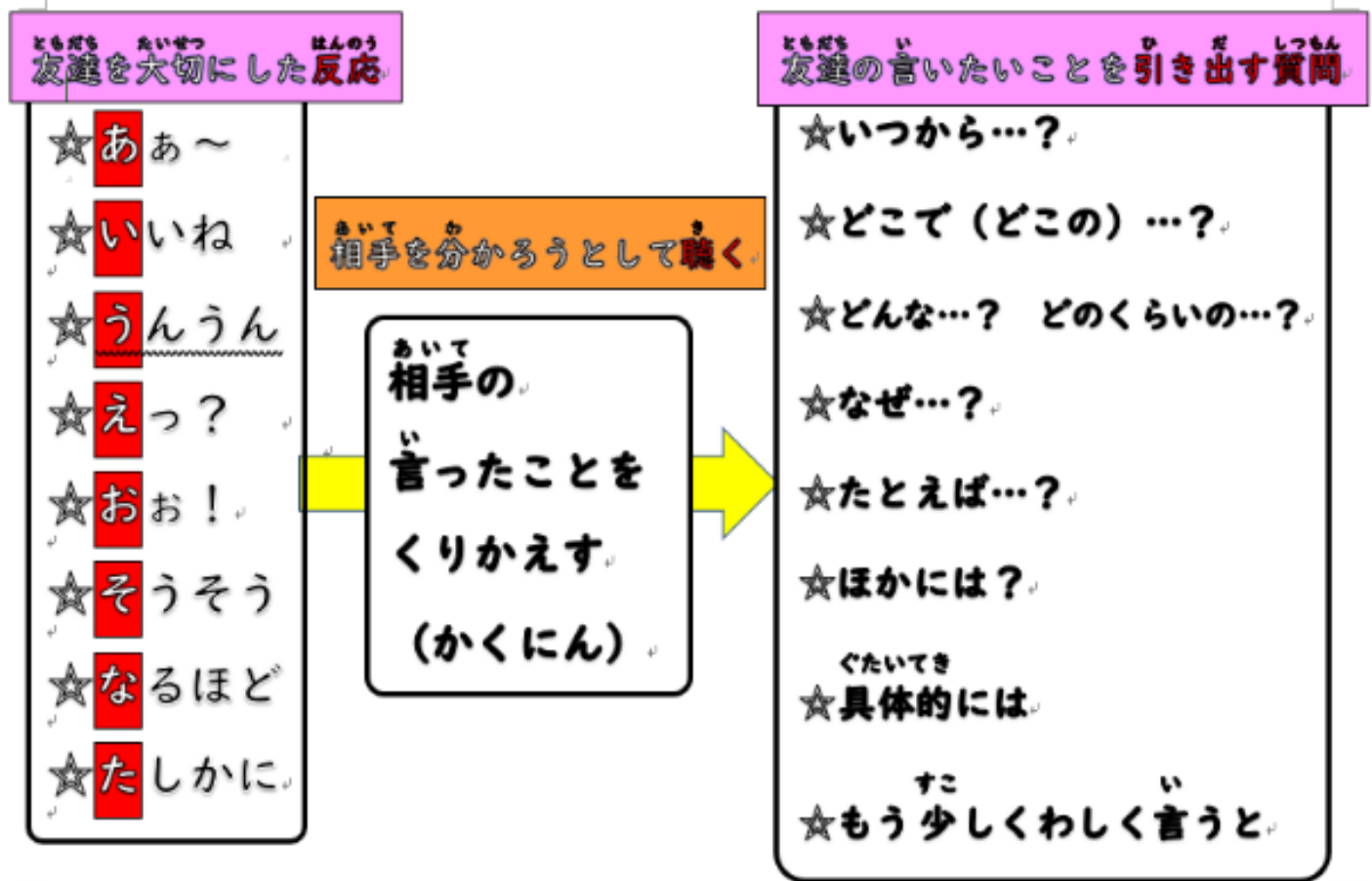
| 単元デザイン               | 研究の重点                                                                                                                        | 実践                                                                                                      |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>教科の見方・考え方</div> | <b>付けたい力の明確化</b><br>単元のゴールの記述力の設定<br>➡付けたい力を明確にする。                                                                           | <b>見方・考え方カード</b><br>板書に位置付けるもの<br><b>対話①</b><br>児童と対話の目的の共有<br>(ペアチャット)                                 |
|                      | <b>対話</b><br>(児童の姿) 目的をもって <b>対話する力</b><br>(手立て) 目的を明確にした対話のコーディネート                                                          | <b>対話②</b><br>自分反応の推進<br>(5秒ツイート)                                                                       |
|                      | <b>ICT (ロイロノートー本化)</b><br>(児童の姿) 自分の考えを表現するために ICT を活用する力<br>(手立て) ・見方・考え方を働かせるために最適なシート<br>・学びの足あとの蓄積・可視化・関連付けによる学びのコーディネート | <b>ICT①</b><br>自分の考えを表現するために最適なシート (D シート)<br>【低学年】<br><b>ICT②</b><br>ロイロノートの有効活用による単元ごとのノート作成<br>【高学年】 |
|                      | <b>記述力</b> :教科の見方・考え方を働かせて自分の考えを表現する力                                                                                        |                                                                                                         |

邑知小の  
「Hakuism-DX」  
はコレ!

### 3. 実践の具体

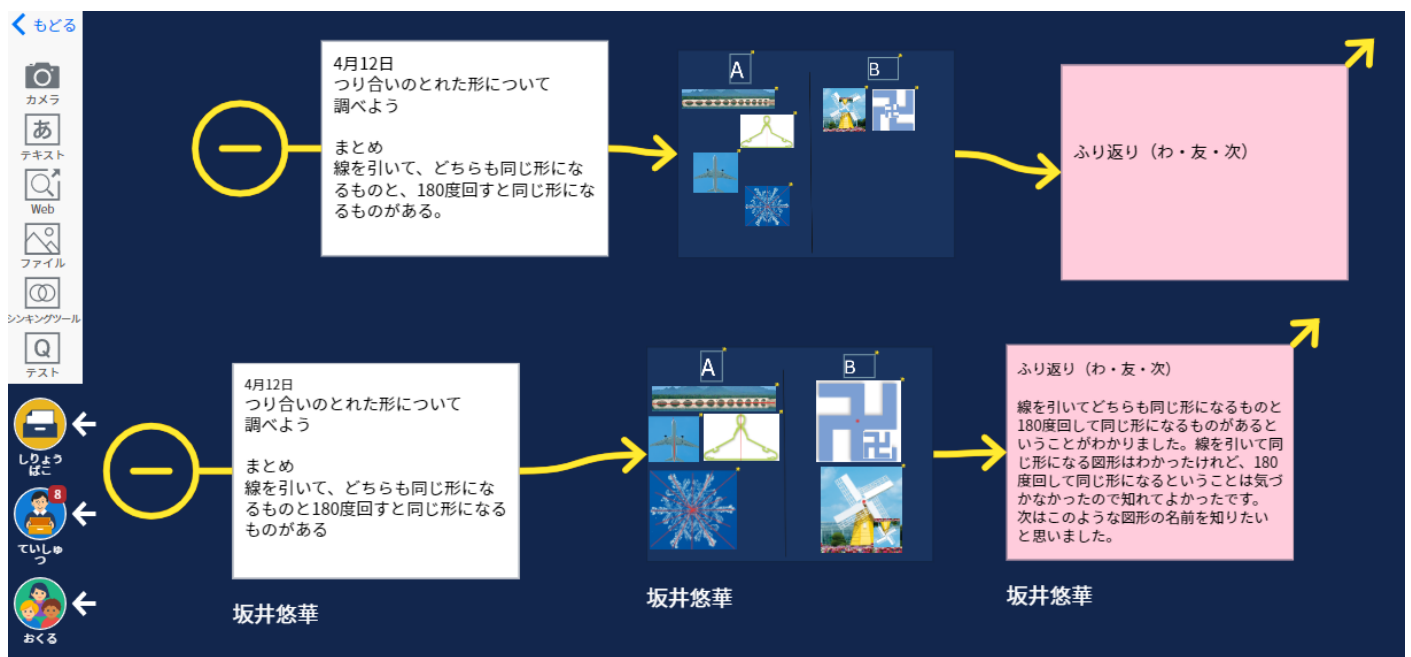
#### 自分反応

聴く力、反応しながら聴く力、質問する力を高めるための取組を行う。



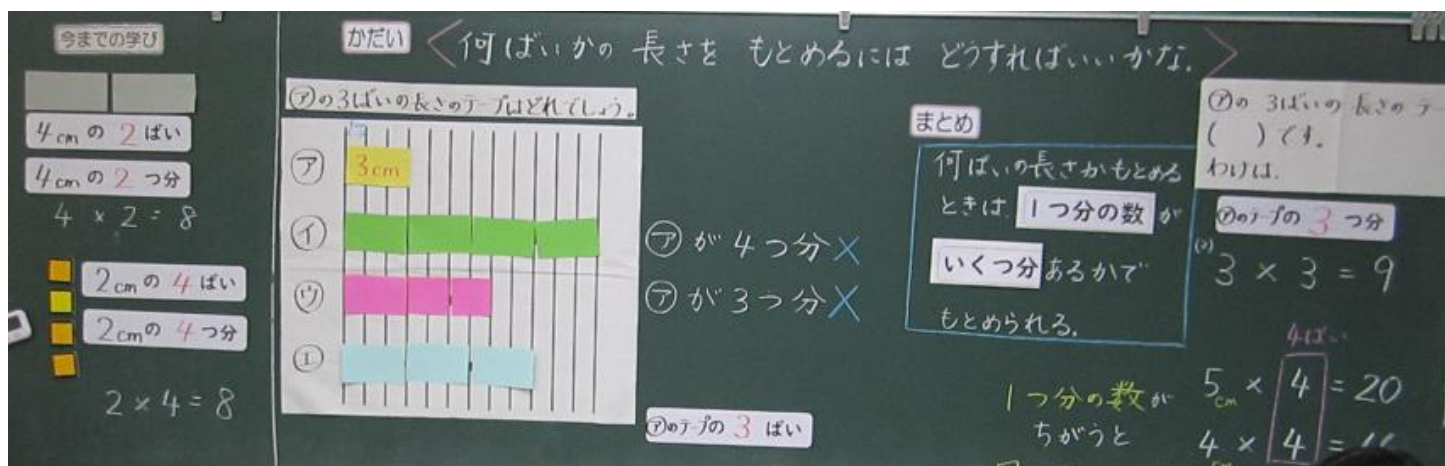
#### ICT 活用

見方・考え方を働かせ、自分の考えをもつために有効なシート作成と学びの蓄積・可視化・関連付け



## 見方・考え方カード

児童が自分の考えを表現できるよう、課題解決の見通しとなる視点や学び合う視点を焦点化するためのカード(板書に位置付ける)



## 4. 評価・検証方法

### (1) 重点単元での記述力の検証

- ① 単元末テスト思考・判断・表現での記述力  
前期(7月)後期(12月)
- ② 市学力調査での記述力(1月)

### (2) 定性的評価(アンケートを活用した検証)

- ① 児童アンケートによる検証

### (3) 授業改善(授業そのものにスポットライトを当てた検証)

- ① 抽出児の思考の変容を検証
- ② ST 分析による検証
- ③ B 規準の記述の達成率

### 【研修会のもちかた】

#### ★研究推進委員会(推進委員)

月に1回程度, 研究の進捗状況の確認, 各チームからの提案・確認・共有

#### ★全体研修会(全員)

月に1回程度, 共通実践の確認, 各チームごとの確認

#### ★指導案検討会(低学年ブロック・高学年ブロック)

要請訪問の指導案検討を行う(訪問日の1ヵ月程度前)

#### ★模擬授業(全員)

要請訪問の模擬授業を行う(訪問日の2週間程度前)

#### ★授業整理会(全員)

要請訪問の授業整理会を行う(訪問後)